

# 令和6年度 生活習慣病重症化予防連携推進会議 議事要旨

- 1 日 時 令和6年11月12日（火）19:00～20:45
- 2 開催場所 北九州市役所3階大集会室
- 3 参加者 〔構成員〕松井構成員、海津構成員、柴田構成員、金井構成員、柳田構成員、杉本構成員、前野構成員、大藏構成員、古市構成員、松丸構成員、丸子構成員、十時構成員、田村構成員、増田構成員、田中構成員  
〔関係団体〕福岡県庁、福岡県立大学  
〔事務局〕保健福祉局健康医療部長、保健福祉局健康医療部健康推進課長ほか

## 4 議 題

- ・北九州市の現状について
- ・尿蛋白（+）以上の者に対する保健指導について
- ・多職種連携について
- ・福岡県糖尿病性腎症重症化予防プログラムの改定について
- ・その他
  - （1）R6年度生活習慣病の重症化によるCKD（慢性腎臓病）の地域格差とリスクアセスメントー地域包括ケアシステム構築に向けたGISの活用ー
  - （2）北九州市CKD予防連携システム患者さん用パンフレットの修正について

## 5 議題概要

北九州市の現状について・・・資料2-1、2-3、2-4、2-6、追加資料1、  
追加資料2

議題資料について、事務局より説明。

<主な内容>

- （1）特定健診受診率、特定保健指導実施率について
- ・特定健診受診率は、少しずつ回復してきている。令和4年度の県内順位をみると、60市町村中40位であった。特定保健指導については、政令市中は6位であるが、県内では59位である。
  - ・特定健診の受診率向上について、受診勧奨ハガキの送付や区役所の職員の訪問・電話による受診勧奨、各区でのチラシ作成などに取り組んでいる。
  - ・データヘルス計画において、令和6年度の特定健診受診率目標が42%、特定保健指導実施率目標が35%である。
  - ・特定健診、特定保健指導ともに実施機関が減っている。実施機関が近くにないことで受けられない方を減らすための対策を考えていく。要医療の方についての受診勧

奨等も強化したい。

(2) 透析患者について

- ・市国保の透析患者の割合は横ばい、後期高齢者医療は減少している。
- ・市国保、後期高齢者医療の新規透析導入患者数を年齢別にみると、年々高齢化している。
- ・透析導入の最高齢をみると、令和3年度96歳、令和4年度99歳、令和5年度95歳であった。

(3) 健診・医療費分析報告書（一部抜粋）について

- ・保険者協議会が医療保険者から情報提供を受けたデータでHbA1c、尿蛋白、eGFRについて有所見率の順位を見ると、いずれも有所見率が高く上位に入る区が多い状況にある。

(4) CKD対策の資材について

- ・糖尿病連携手帳連携シール、ヒートマップシール、CKD予防連携システムの各様式等について、市医師会・地区医師会を通じて医療機関に配布しているため、院内や各団体での周知に御協力いただきたい。

尿蛋白（+）以上の者に対する保健指導について・・・資料2-1、2-2、参考1、参考2

議題資料について、事務局より説明。

<主な内容>

(1) CKD予防連携システムの運用状況について

- ・eGFR60未満または検尿異常の方は年々増加傾向である。健診結果からみた二次医療機関受診対象者も増加傾向にある。
- ・二次医療機関受診対象者からこれまで専門医を受診した方を除外した上で、二次医療機関用受診連絡票使用率をみると2.8%と非常に少ない状況である。

(2) 尿蛋白（+）以上の者に対する保健指導について

- ・区役所や健康推進課で尿蛋白+以上の方に訪問し、受診を促しても検査をしてもらえなかった、先生から心配ないと言われた、先生の説明を自分なりに理解するパターン等あり、対応に苦慮している。
- ・CKD予防連携システムでは、尿蛋白+以上であれば一次医療機関で検査・治療の対象となっている。腎機能低下を進めないために尿蛋白が出た時点での対応が大事と認識している。

多職種連携について・・・糖尿病透析予防管理料と慢性腎臓病透析予防管理料  
資料3、参考2、参考3

<主な内容>

- (1) 海津構成員より慢性腎臓病透析予防管理料、チーム医療について紹介。
- (2) 丸子構成員より薬剤師への検査値の共有について提案。
- (3) 事務局よりヒートマップシール修正案、ヒートマップシール周知の際に過量投与の

事案を同封することの提案。

福岡県糖尿病性腎症重症化予防プログラムの改定・・・資料4

<主な内容>

議題資料について、県庁より説明。

R6年度生活習慣病の重症化によるCKD（慢性腎臓病）の地域格差とリスクアセスメント  
ー地域包括ケアシステム構築に向けたGISの活用ー・・・福岡県立大学資料

<主な内容>

- (1) 議題資料について、福岡県立大学より説明。
- (2) GISを活用しCKDの視点で作成したマップについて、健康推進課より紹介。

北九州市CKD予防連携システム患者さん用パンフレットの修正について・・・資料5

<主な内容>

- ・昨年度の会議の意見をもとに2点、修正を提案したが全体的に整理が必要な可能性があり、一旦保留となった。

■次回開催について

パンフレットの修正等の進捗により決定